

交通事故死〇二千日達成

月瀉小学校四年 金子 恵美

交通事故で二千日も人がな
くならなかったということ
は、とてもすばらしいことだ
と思います。これも、村の人
が一人ずつ注意しあっていた
からだだと思います。

一度うちのお姉さんが、自
転車にのってバイクとぶ
つかりそうになったことがあ
りました。私は、お姉さんが
一時停止しないで飛び出たか
らだと思いました。私は、そ
れを見ていて、飛び出しは、
とてもあぶないんだなと思
いました。

他にも交通事故を見たこと
があります。高校生くらいの
女の人が、車にひかれてまっ
さおになってたおれているの
を見ました。私は、その人を見
て気持ちがわるくなりました。
でも、車にひかれて、いろ
いろな所をけがしていたの
で、すこしかわいそうな気が
しました。けれど、その女の
人も悪いと思います。横から

とつぜん飛び出てきたからで
す。

私もそういうようなことが
ときどきあります。たとえば
急いでいるときなどです。や
っぱり、そういうように、飛
び出しをしないで、左右をた
しかめてからの方がいいんだ
なあと思いました。

これからは死ぼう事故〇だ
けではなくて、交通事故がな
いように、みんなで気をつけ
ていきたいと思っています。

私たちがただではなく、車に
のっている人も、スピードを
出しすぎないようにしてもら
いたいと思います。そして三
千日や四千日、もっともつと
死ぼう事故がないようにした
いです。

一人一人が、交通ルールを
きちんと守り、この月瀉村を
交通事故のない、よい村にし
ていきたいです。

人の命をうばうもの

月瀉小学校五年 諏訪 真枝

あれは、わたしが一年生か
二年生の夏休みだったろう
か。わたしは六分の方まで買
い物に行った。天気の良い日
でルンルン気分です。スキップ
しながら行った。

「うんと、これとこれ。あ
とこれも」わたしはいろいろ
と選びながらおかしやらアイ
スクリームやらいろいろ買っ
て、またスキップしながら家
へ帰ってきた。

やっと家の前まで来た。ふ
と横を見ると道路のところに
赤い色のぐみみたいな物が一
面に広がっていた。わたしは、
なんだだろうと思いつながら家
へ入った。

わたしは目の前であんな血

かわいそうな動物

月瀉小学校五年 鷲尾 厚子

わたしは、いつも動物はち
ゃんと生きているのに、車で
ひいておいて、なぜひき逃げ
をするかと思えます。

まに、白根へ行った時、
白根の白根橋を通る前に、親
ねこが車にひかれて死んでい
ました。もう、だいぶ前に死
んでしまったような親ねこで
した。

わたしは車に乗っていたか
らよくわかりませんでした。

でも、あれはたしかに親ねこ
の死たいでした。

ひいたドライバーの人は、
自分の親がひかれた事を思
うかべて、自分のおかしなつ
みを反省して、うめたりして
くれたらいいのと思います。
自分の親が死ぬと悲しむよ
うに、子ねこたちは、とても
悲しんでお母さんに会いた
がっていると思います。ひいて
そのままにするのはやっぱ

交通事故のおそろしさ

月瀉小学校五年 小林 奈々子

私の姉は、交通事故にあっ
たことがあります。聞いてい
た時は、「今、生きているん
だったらたいした事故じゃな
かったんだな」などと軽く考
えていましたが、あとで考え
てみると大変なことでした。

最初、姉はお友達と遊んで
いました。が、と中どうして
もトイレに行きたくなりました
た。いっしょうけんめいがま
んしていましたが、「トイレ
に行ってくるね」とつけて、
走り出しました。

いか、ということがとてもよ
くわかります。姉に、
「いたかった？」ときくと、
わらいながら「覚えてない」
と言いました。

私は事故にあったことがな
いのでよくわかりませんが、
多分、あつというまに起きた
ので、何が何だかわからな
かったのだと思っています。

事故のあった日は、姉が急
に左右のかくにんをせずとび
だしてきたことです。

私は姉が悪いと思います。
急にとびだしてきたのはこっ
ちなのに、止まらなかった車
が悪い、とは考えられません。
車は急に止まれない、という
言葉もあるはずです。から、
私が前にいた、北海道は、

れど動物も殺さないで三千日
を目指してほしいと思いま
す。そのためにはきちんと前
を見て運転し、酒飲み運転を
しないで安全な運転に心がけ
てほしいと思います。

全国で交通事故の件数が一番
という所でした。それにひき
かえ、月瀉はどうでしょう。
二千日も死亡事故がなかった
なんて、とてもすばらしいこ
とです。このまま三千日を目
指したいです。

最後に、事故では子どもの

おそろしい交通事故

月瀉小学校五年 小林 雅人

ぼくは、交通事故にあつた
事があります。でも、ぼく
のお父さんは交通事故にあつ
た事があります。

その時は、昭和五十八年
でした。家の近くの米の倉庫に
大事な用があつて、向ってい
ると中、後ろから車が来てお
父さんをひきました。それか
ら、その後近所の人々がぼく
の家に来て話し合いを始めま
した。十時になつても終わら
ないのでぼくはねました。

次の日になつて学校へ行く
と中、人の形をした白い線が
道に書いてありました。実は
それがお父さんがひかれた場
所だったので。

お父さんは新潟の中央病院

とびだしが多いそうです。
私たちも見通しの悪い細い
道では、きちんと左右かくに
んしてから行き、運転手のみ
なさんもあまりスピードを出
さないで行って下さい。お願
いします。



シートベルト着用推進運動 (8月1日~31日)

今月も八月一日から三十一
日までの間に、シートベルト
着用運動が始まっています。
昭和六十年九月一日にス
タートして以来、約二年が過
ぎようとしていきます。当初の
着用率平均に比べると、わず
かながら率は上がっていると
思われます。しかし、事故そ
のものは新潟県内を見てのと
おり、昨年と同時期に比べて、
かなり増えているのが現況な
のです。